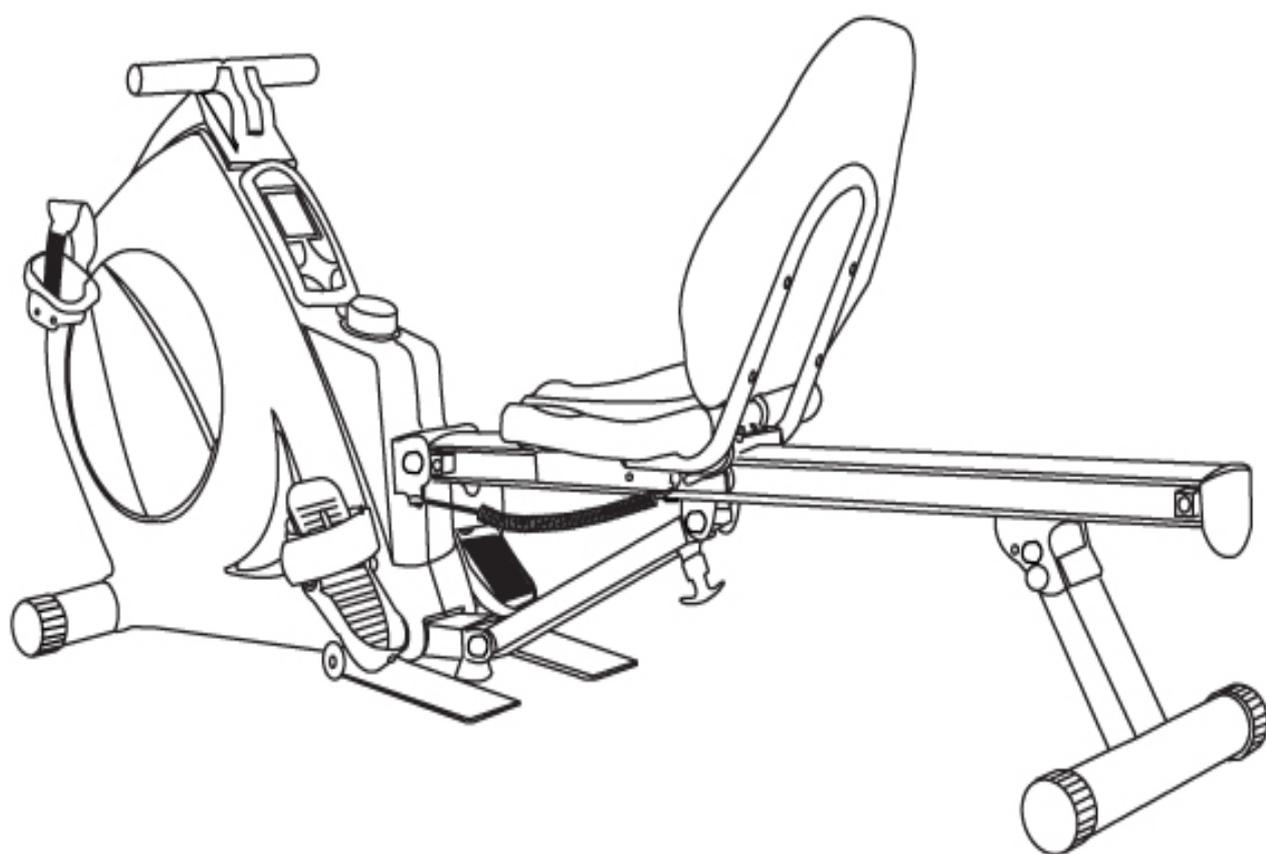


# CYCLE ROWING

サイクルローイング6510

## 取扱説明書



CHUOH-HEALTH

NAGOYA・TOKYO

**【目次】**

P3~7.....安全にお使いいただくために守っていただきたいこと

P8~9.....部品内容

P10~13.....組み立て方法

P14.....コントロールメーターの使い方

P15~16.....機能説明

P17.....操作説明

P18.....運動方法

P19.....折りたたみ方法

P20.....トラブルシューティング

P21.....展開図

P22~23.....パーツリスト

P24.....保証書

## 使用前に必ずお読み下さい。

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 警告サインと内容は次のようになっています。

警告サイン	内 容
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図 記 号 の 例	
	この記号は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、この記号の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“一般的な禁止”を示します。
	この記号は強制（必ず守ること）を示します。 具体的な強制内容は、この記号の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“一般的な強制”を示します。

### 警 告

本機は、健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、妊娠中の方、その他病気や障害のある方、リハビリを目的とする方は、必ず医師と相談のうえ使用してください。

・自己判断は、健康を害する恐れがあります。

運動中、身体に異常（めまい・冷や汗・吐き気・脈拍の乱れ・動悸など）を感じたときは、ただちに運動をやめて下さい。

・健康を害する恐れがあります。

使用中、本体の周りに乳幼児を近づけないで下さい。

・駆動部に接触したり、クランクとサイドカバーの隙間に挟まれて怪我をする恐れがあります。



## 1. 使用前に守っていただきたいこと

 <b>注 意</b>	
<p>運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ずおこなってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を害する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>運動直後などで脈拍が上昇している場合は、脈拍が正常に戻ってから使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を害する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>保護者の方は、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>飲食後や疲労時、または体力の状態が平常でないときは、運動をおこなわないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を害する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>最大使用体重は 100Kg です。体重が 100Kg を超える方は使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用中、破損する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>コードやコネクタなどに損傷が生じたとき、本機が正常に作動しないとき、落下し破損したとき、水に濡れたとき等は使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やトラブルにつながる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>修理、改造をおこなわないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やトラブルにつながる恐れがあります。</li> </ul>	

## 2. 組み立て時に守っていただきたいこと

 <b>注 意</b>	
<p>組み立て時、乳幼児を近づけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部品を口にするなど事故を誘発する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>十分なスペースを確保し、水平な場所で組み立ててください。また、床を傷つけないよう必ずシートを敷いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の誘発や転倒、また床が傷つく恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ペダルのネジやボルトが確実に取り付けられているか、また、調整部が適切に調整されているか、ご使用前に必ず確認してください。</p> <p>ペダルのネジやボルトがゆるんだままで本機を使用すると怪我をする恐れがあります。</p>	
<p>コネクタは確実に接続してから使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルにつながる恐れがあります。</li> </ul>	
<p>配線接続部分は確実に挿入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクタピンが曲がったり、挿入が不完全だと機器のトラブルの原因となります。</li> </ul>	
<p>シートキャリアがしっかり固定されているかシートを前後に動かして確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり固定されていないとシートキャリアが急に動き、怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>シート調節レバーをゆるめる時は必ずシートキャリアを保持してゆるめてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートキャリアが急に動き、機器の損傷や怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ハンドルがしっかり固定されているか上下に動かして確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり固定されていないとハンドルが落下し怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり支えたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛や怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>シートに座った状態でシート高さレバーをゆるめないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートポストが急に落下し、機器の損傷や怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	

### 3. 設置時に守っていただきたいこと

 注 意	
<p>本機は水平な床の上で使用してください。畳やカーペットなどの上で使用する場合は、本機が安定していることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒して怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>設置には乗降や運動に十分な広さを確保してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故を誘発する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>畳やカーペット、フローリング板の上で使用するときは本機の下に破れにくいシート等を敷いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床面を傷つけたり汚したりする恐れがあります。</li> </ul>	

### 4. 使用時に守っていただきたいこと

 注 意	
<p>日頃、運動していない方は、徐々に運動強度を上げるようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を害する恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ご年配の方や、お子様が使用するときには必ず大人の方が付き添いのもとに使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機は運動に適した服装や靴を履いて使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>運動中はハンドルをしっかり握ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>運動以外の目的に使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思わぬ事故やトラブルの恐れがあります。</li> </ul>	
<p>シートに座った状態で横に揺すったり、ハンドルにもたれかかったり、本機の前脚を浮かすようなご使用はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器が転倒して怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ペダル、シート以外に乗ったり傾けたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒したり指を挟んだり怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ペダルを踏んで立ち上がった状態でペダルをこがないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスを崩し、怪我をするおそれがあります。</li> </ul>	
<p>乗降する場合などに、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が本機及び使用者を押ししたり、引いたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ペダルのクランクとサイドカバーの隙間及びサイドカバーの開口部に手や指を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>ペダルを踏んで立ち上がった状態でペダルをこがないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスを崩し、怪我をするおそれがあります。</li> </ul>	

## 5. 使用後に守っていただきたいこと

 <b>注 意</b>	
<p>本機を使用しない場合には梱包等して、別の用途に使用したり、特に幼児が触れないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>本機を廃棄する時は、大型ゴミあるいは粗大ゴミとして自治体に回収してもらってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染の恐れがあります。</li> </ul>	

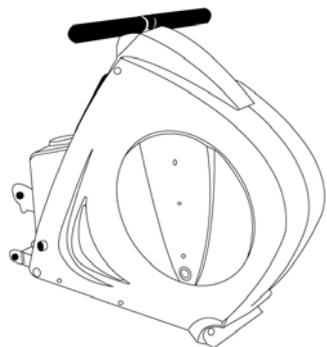
## 6. 移動するときに守っていただきたいこと

 <b>注 意</b>	
<p>移動時には、本機の押し下げ過ぎや傾け過ぎに気をつけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をするおそれがあります。</li> </ul>	
<p>引きずるようにして移動しないでください。また、傷がつきやすい床を移動時は破れにくいシートなどを敷いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畳やじゅうたん、床などに傷がつきます。</li> </ul>	

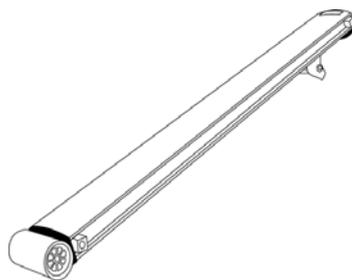
### 【お願い】

- ・ 本機を直射日光のあたる場所や火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。
- ・ 屋外や浴室付近、湿気や埃の多いところ、水滴等がかかる場所には設置したり保管したりしないでください。  
(さびが発生したり負荷調節部にくるいが生じる恐れがあります。)
- ・ 本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するとき等に衝撃を与えたり、振動の加わる場所での使用は避けてください。動作が不安定になったり破損する場合があります。
- ・ 内部に異物を入れないでください。異物が入ったままで使用すると故障の原因になります。特にお子様のいる家庭は注意してください。

## 部 品 内 容



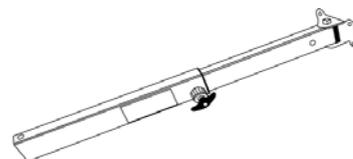
【メインフレーム】 (1)



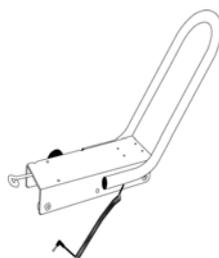
【レール】 (52)



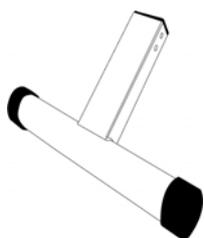
【ハンドレール】 (70)



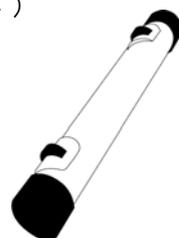
【サポートチューブ】 (56)



【シートキャリア】 (64)



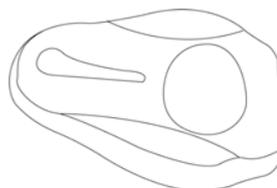
【リアサポート】 (62)



【フロントスタビライザー】 (2)

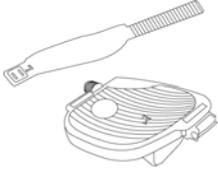
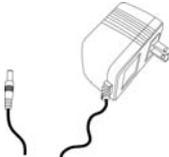
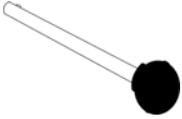
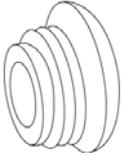
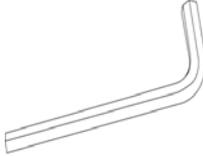
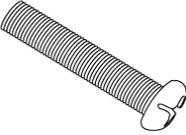


【シート】 (68)

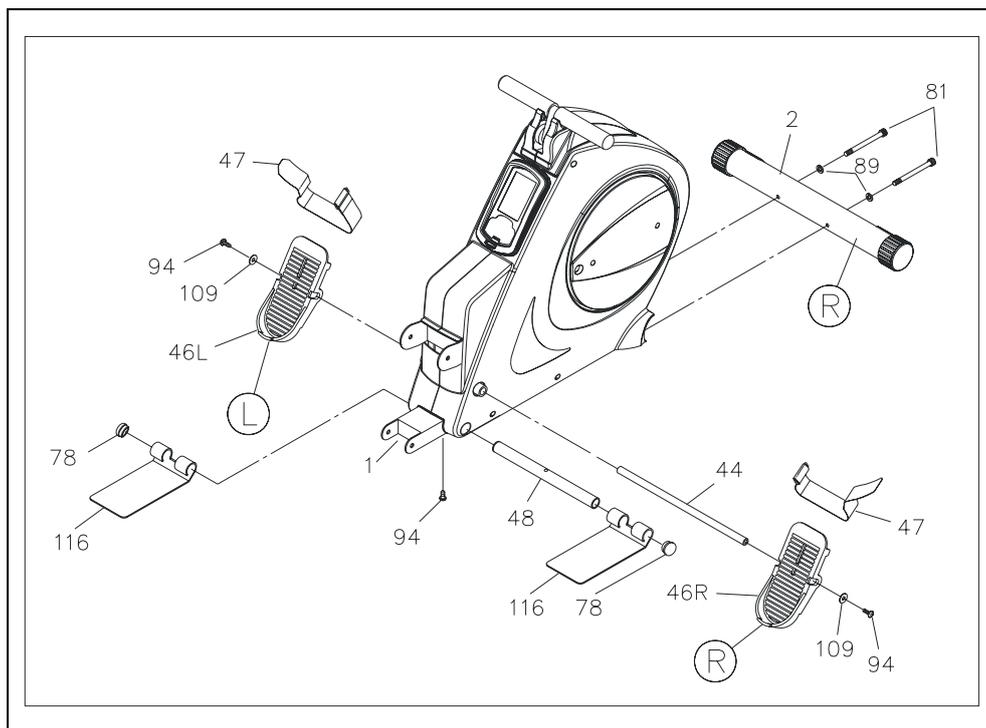


【バッククッション】 (69)

## 部品内容 2 (小箱)

			
【ペダル】 (39・41) 【ペダルストラップ】 (40・42)	【プレートペダル】 (116)	【フットペダル】 (46)	【ストッチャー】 (48)
左右各 1 ケ	2 ケ	2 ケ	1 ケ
			
【アダプター】 (119)	【ヘッドシャフト】 (44)	【プルピン】 (63)	【ナットキャップ M10】 (79)
1 ケ	1 ケ	1 ケ	8 ケ
			
【ラウンドプラグ 25mm】 (78)	【Lレンチ】	【コンビネーションレンチ】	【Wレンチ】
2 ケ	2 ケ	1 ケ	2 ケ
			
【ボルトソケット】 (81) M8×1.25×70mm	【ボルト】 (94) M8×1.25×15mm	【六角ボルト】 (97) M8×1.25×16mm	【プラスボルト】 (95) M6×1×15mm
2 ケ	2 ケ	4 ケ	4 ケ
			
【プラスボルト】 (96) M6×1×30mm	【スプロケットワッシャー M8】 (89)	【ワッシャー】 (109) M8×23Φ	
4 ケ	2 ケ	2 ケ	

# 組立方法



## STEP1

“R”のステッカーが貼ってあるフロントスタビライザー(2)をメインフレーム(1)にボルトソケット(M8x70mm)(81)とスプリングワッシャーM8(89)で取り付けます。

## STEP2

ストッパーチューブ(48)をメインフレーム(1)に通し、メインフレームの下側からボルト(M8x15mm)(94)で固定します。

## STEP3

プレートペダル(116R・L)をストッパーチューブ(48)の左右から差込み、ラウンドプラグ 25mm(78)をはめ込みます。



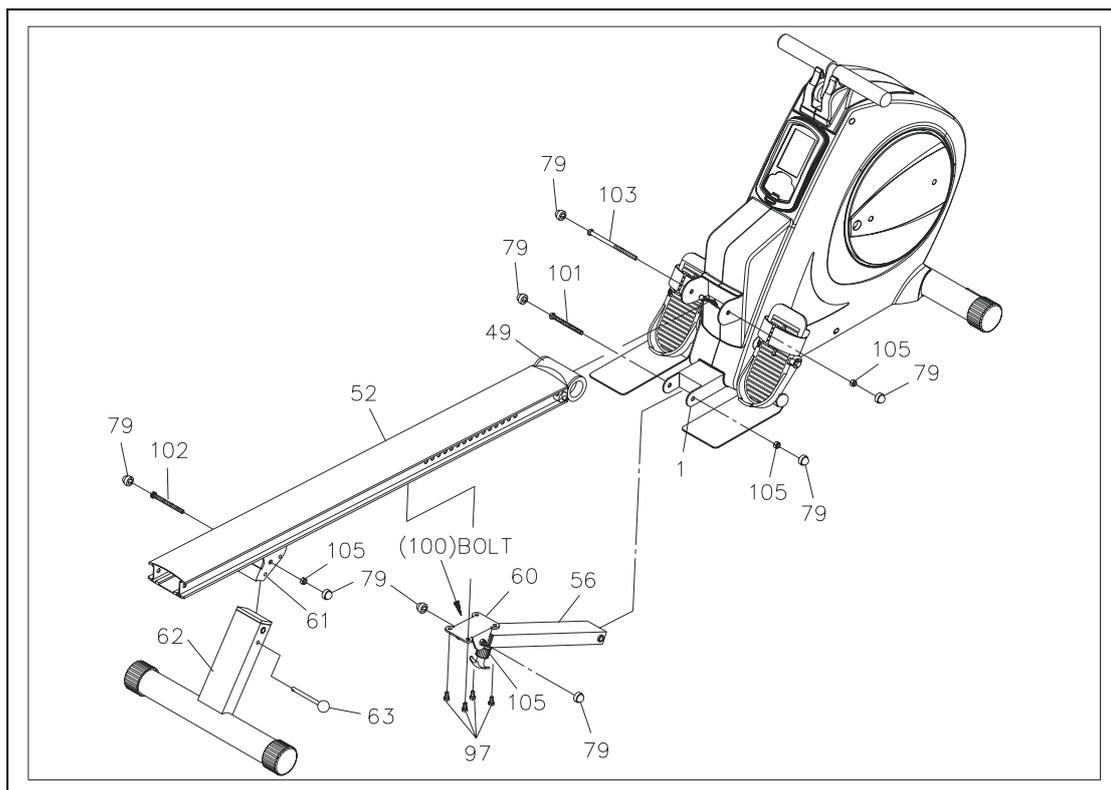
**フットペダル(46)のR・Lが間違いないかを確認してください。**

## STEP4

ペダルシャフト(44)をメインフレーム(1)に通し、左右フットペダル(46R・L)をペダルシャフト(44)の両側から差し込み、ボルト(M8x15mm)(94)とワッシャー(M8)(109)で固定してください。

※このとき、2本のLレンチを使って左右同時にボルトを締めてください。

定期的に2本のLレンチでボルト(M8x15mm)(94)がペダルシャフト(44)にしっかりと取り付けられているかを確認してください。



### STEP5

サポートチューブ(56)のサポートブラケット(60)をレール(52)に六角ボルト(M8x16mm)(97)で取りつけます。その後、ナットキャップ(79)を六角ボルト(M10×75mm)(100)とナット M10(105)にかぶせます。

### STEP6

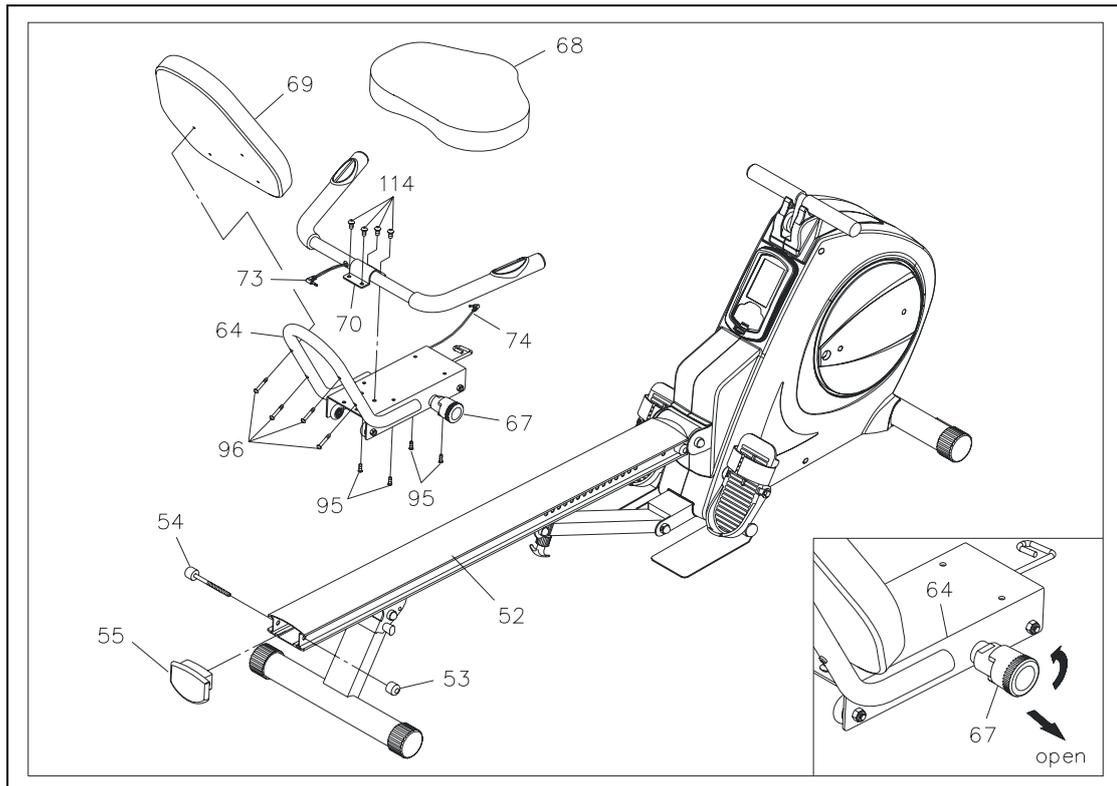
レール(52)のレールピンボット(49)をメインフレーム(1)のブラケット(上側)に差し込み六角ボルト(M10x125mm)(103)とナイロンナット(M10)(105)で取りつけます。その後、ナットキャップ(79)を六角ボルト(M10x125mm)(103)とナット(M10)(105)にかぶせます。

### STEP7

サポートチューブ(56)をメインフレーム(1)のブラケット(下側)にボルト(M10x85mm)(101)、ナイロンナット(M10)(105)で固定します。その後、ナットキャップ(79)を六角ボルト(M10x85mm)(101)とナット(M10)(105)にかぶせます。

### STEP8

リアサポート(62)をレール(52)のリアサポートブラケット(61)にボルト(M10x95mm)(102)とナイロンナット(M10)(105)で取り付けます。次にリアサポート(62)の下の孔にプルピン(63)を差し込みます。その後、ナットキャップ(79)を六角ボルト(M10x95mm)(102)とナイロンナット(M10)(105)にかぶせます。



パルスセンサーワイヤー(73,74) を切断などしないように注意して他の部品を取り付けてください。

### STEP9

ハンドレール(70)をシートキャリア(64)にボルト(M8x12mm)(114)で取り付けます。

### STEP10

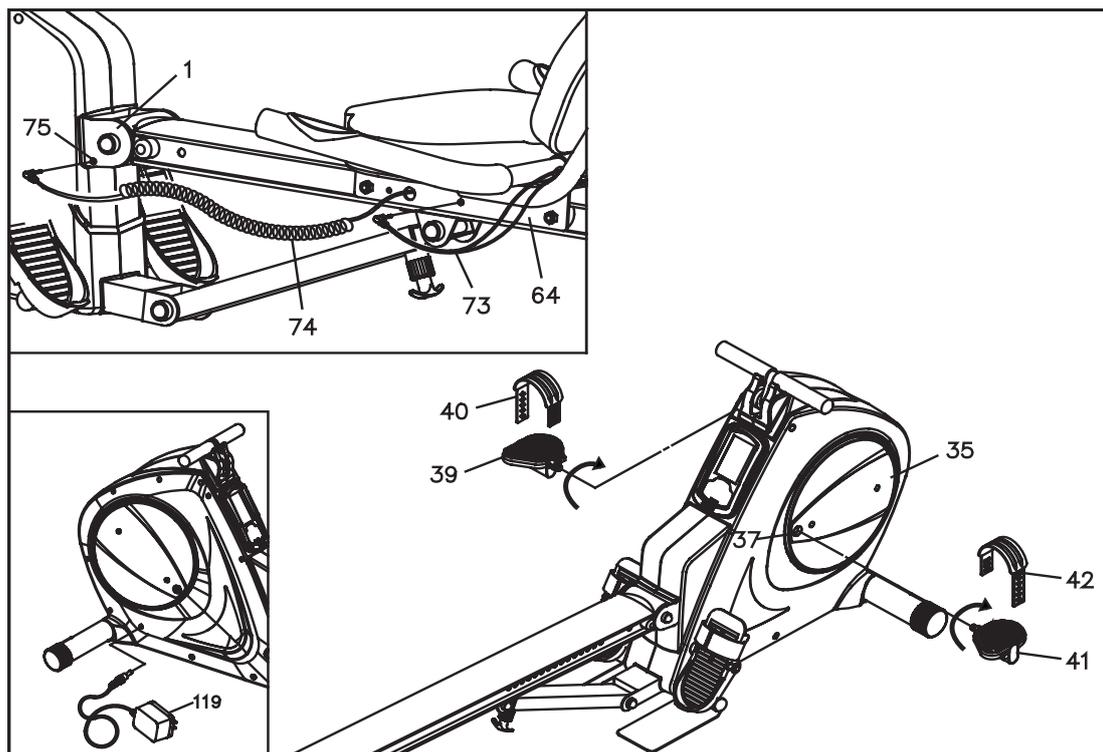
シート(68)をシートキャリア(64)にボルト(M6x1x15mm)(95)で止めます。

バッククッション(69)もシートベース(64)にプラスボルト(M6x1x30mm)(96)で取り付けます。

### STEP11

スプリングピン(67) を左に回してノブが解除の状態(先端のピンが短い状態)にしてから、シート一式をレール(52)の後ろからセットして前に通し、レールキャップ(55)をレール(52)の最後部にはめ込みます。ストッパーボルト(54)をレール(52)のレールキャップ(55)から少し前にある孔に通しストッパー (53)で固定します。

※ 最初レールキャップ(55)はレール(52)に取り付けてありますので、シート一式をセットする前にレールキャップ(55)を外してください。



### STEP12

‘R’のステッカーが貼ってある右ペダル(41)を右側のペダルクランク(37)に右回しで取り付けます。ペダルクランク(37)は上図のクランクカバー(35)の内部にあります。

‘L’のステッカーが貼ってある左ペダル(39)を左側のペダルクランク(37)に左回しで取り付けます。その後ペダルストラップ(40、42)を‘R’‘L’のステッカーを確認して各ペダル(39、41)に取り付けます。

※ ストラップ(40、42)の3つの穴がある側をペダル(39、41)の内側に取り付けます。

ストラップの穴は足の甲の高さに合わせて調整してください。

### STEP13

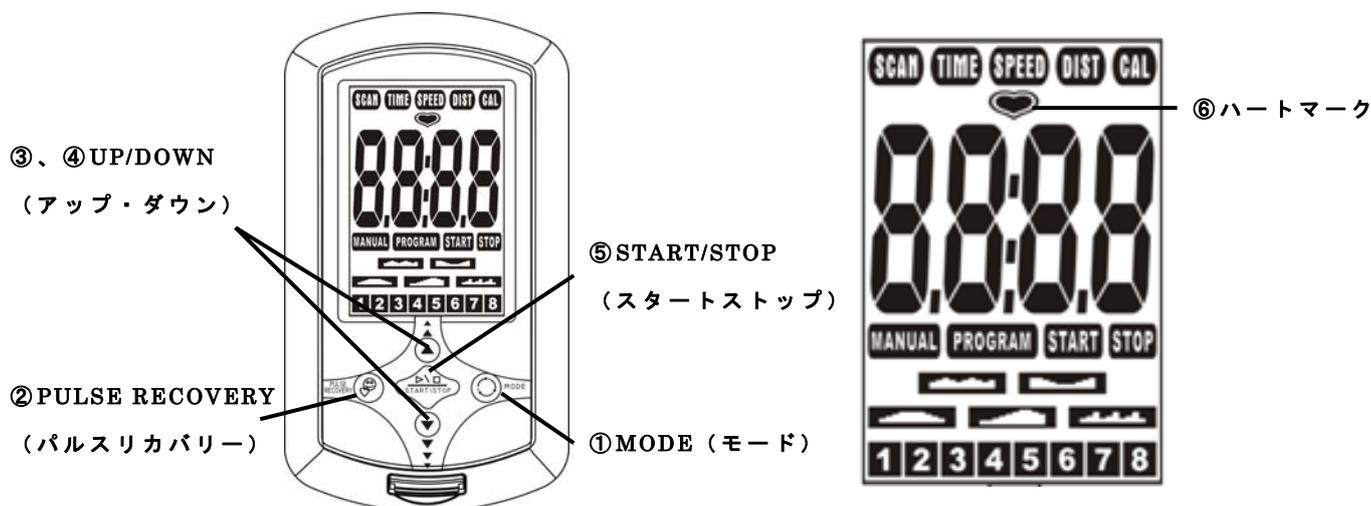
上図を参照にパルスセンサーワイヤー(73)のプラグを差し込みます。シートキャリア(64)から出ているパルスコイルワイヤー(74)をメインフレーム(1)の上図75の部分に差し込みます。

### STEP14

アダプター(119)をメインフレーム(1)に差し込みます。

## コントロールメーターの使い方

### フロントビュー



### ボタンガイド

#### ①MODE:モード 表示切替

1. 運動停止中(設定):SCAN(スキャン)→TIME(時間設定)→DIST(距離設定)→CAL(カロリー設定)→  
L 0(パルス設定)と変更
2. 運動中:SCAN(スキャン)→TIME(時間)→SPEED(速度)→DIST(距離)→CAL(カロリー)→OOP(脈拍)と変更

#### ②PULSE RECOVERY:パルスリカバリー

運動後にこのボタンを押すことにより運動終了時の脈拍と1分後の脈拍を測定して回復率を測定します。  
結果はF1(非常に良い)～F6(非常に悪い)で表示されます。

#### ③UP:アップ

1. 運動停止中 “UP” ボタンを押すことにより SCAN(スキャン)モードの時に  
MANUAL(マニュアル)、PROGRAM(プログラム) 1 から PROGRAM 5 まで移動できる。
2. 運動停止中 ”UP”ボタンで SCAN(スキャン)モード時以外で TIME(時間設定)、DIST(距離設定)、CAL(カロリー設定)、  
L 0(脈拍設定)の数値を上げて入力することができる。
3. 運動中は負荷抵抗を上げる。

#### ④DOWN:ダウン

1. 運動停止中 “DOWN” ボタンを押すことにより SCAN(スキャン)モードの時に  
MANUAL(マニュアル)、PROGRAM(プログラム) 5 から PROGRAM 1 まで移動できる。
2. 運動停止中 ”DOWN”ボタンで SCAN(スキャン)モード時以外で TIME(時間設定)、DIST(距離設定)、CAL(カロリー設定)、  
L 0(脈拍設定)の数値を下げて入力することができる。
3. 運動中は負荷抵抗を下げる。

#### ⑤START/STOP:スタート/ストップ

1. このボタンを押すことにより運動をスタート、もしくはストップさせる。
2. このボタン 2 秒間押すことによりディスプレイに表示されている数値が '0' にリセットされる。

## 機能の説明

### AUTO ON/OFF: (オート オン/オフ)

運動を開始すると自動でディスプレイの表示が点灯します。

運動を途中で停止した場合は 4 分後に自動でディスプレイの表示が消灯します。

その場合はプログラムと設定数値は '0' となります。

### SCAN (スキャン)

運動中、MODE ボタンでディスプレイの表示を SCAN(スキャン)に合わせる。

TIME(時間)-SPEED(速度)-DIST(距離)-CAL(カロリー)-PULSE(脈拍)とディスプレイ表示を 5 秒ごとに切り替わる。

### TIME (時間)

運動停止中、MODE ボタンでディスプレイを TIME に合わせる。

カウントアップ▲: 1 分 00 秒 ~ 99 分 00 秒まで設定可能

カウントダウン▼: 99 分 00 秒 ~ 1 分 00 秒まで設定可能

設定時間が終了するとビーブ音になります。設定しない場合はカウントアップ表示されます。(0 分 01 秒 ~ 99 分 59 秒まで)

### SPEED (スピード)

運動中、MODE ボタンでディスプレイの表示を SPEED に合わせる。ディスプレイに運動中のスピードが表示されます。

(0.1 ~ 99.9 km/h まで表示可能)

### CALORIE (カロリー)

運動停止中、MODE ボタンでディスプレイを CAL に合わせる。

カウントアップ▲: 10kcal ~ 9990kcal まで設定可能

カウントダウン▼: 9990kcal ~ 10kcal まで設定可能

設定カロリーが終了するとビーブ音になります。設定しない場合はカウントアップ表示されます。(0.1 ~ 9999kcal まで)

### DISTANCE (距離)

運動停止中、MODE ボタンでディスプレイを DIST に合わせる。

カウントアップ▲: 1.0 ~ 999.0 km まで設定可能

カウントダウン▼: 999.0 ~ 1.0 km まで設定可能

設定距離が終了するとビーブ音になります。設定しない場合はカウントアップ表示されます。(0.1 ~ 999.9 km)

### PULSE (脈拍設定)

運動停止中、MODE ボタンでディスプレイを L 0 に合わせる。

カウントアップ▲: L90 ~ 220 まで設定可能

カウントダウン▼: L220 ~ 90 まで設定可能

両側の手すりのパルスセンサーを軽く握ると 5 秒後⑥ハートマークが点滅して脈拍がディスプレイに表示されます。

5 秒間脈拍が感知されない場合は霧吹きなどで手を湿らせて再度パルスセンサーを握ってください。

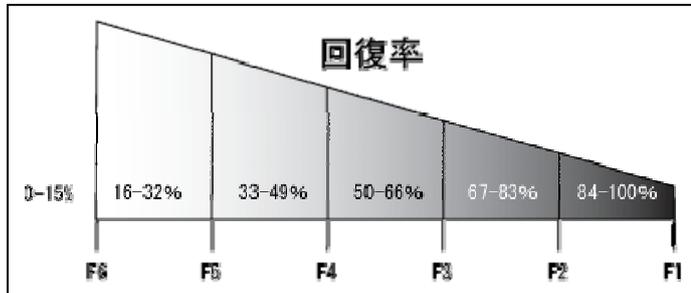
脈拍設定した場合、設定脈拍を超えてしまうとビーブ音で知らせてくれます。その際には直ちに運動量を緩め、設定脈拍の数値以内で運動してください。

## 脈拍回復率

PULSE RECOVERY (脈拍回復率)とは運動後の脈拍の回復率を測定する装置です。

運動終了後に②PULSE RECOVERY ボタンを押し、すぐにシート横のグリップセンサーを握ります。ディスプレイのハートマークが点灯し時間がカウントダウンしていきます。1分後にピープ音と共に測定終了。

ディスプレイに F1～F6 までの結果が表示されます。



F1 非常に良い (回復率が早い)

・  
・  
・

F6 非常に悪い (回復が遅い)

## プログラムについて

このメーターにはマニュアルを除く5個のプログラムがあります。設定した時間を10分割に分け、負荷抵抗を自動的にグラフの形のように変化していきます。お好みのプログラムを選択してください。

例: 時間を30分で設定した場合3分ごとに負荷抵抗が変化

## プログラム設定の仕方

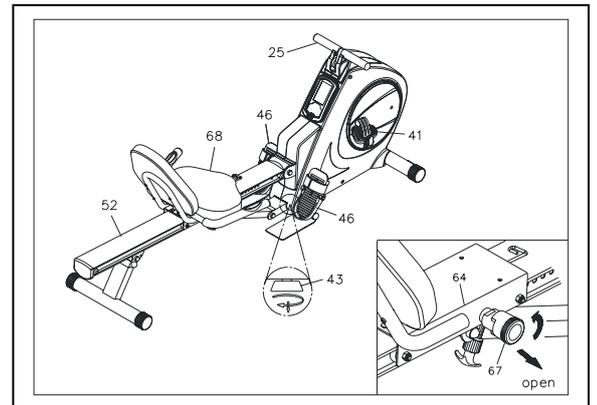
1. 運動停止中、MODEボタンでSCANIに合わせます。
2. UP(アップ)・DOWN(ダウン)ボタンでお好みのプログラムを選択します。
3. MODE(モード)ボタンでTIME(時間)の設定をします。(10分00秒～90分00秒まで)  
※時間を設定しないと負荷抵抗が変化していきません
4. START/STOP ボタンを押して運動を開始する。一時中断したい場合は再びSTART/STOP ボタンを押すと中断できます。  
またその後に再開したい場合は再度START/STOP ボタンを押すと再開できます。

※4分間なにも操作しないとオートオフ機能が働きリセットされてしまいます。

## 操作説明

### リカンベントバイクモード・ローイングモード

このマシンはリカンベントバイク、ローイングの2種類の運動が出来ます。リカンベントバイクモードの使用の際はスプリングピン(67)をロックしている状態で、ローイングモードで使用するときにはスプリングピン(67)を引いた状態(解除)にします。



### リカンベントバイクモード

シート下のスプリングピン(67)を左に回し(解除)シート位置を調整します。位置が決まったらスプリングピンを右に回してシートを固定し、ペダルをこいで運動を開始します。

### ローイングモード

スプリングピン(67)を左に回し(解除)シートが前後に動く状態にします。足をフットペダル(46)に乗せてハンドルバー(25)を使って運動を開始します。

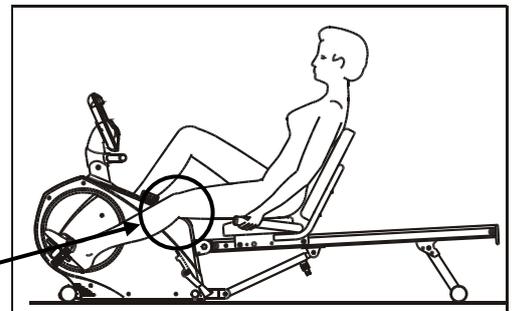


：本体の土台にガタつきがある場合スタンド(43)を回して調整してください。

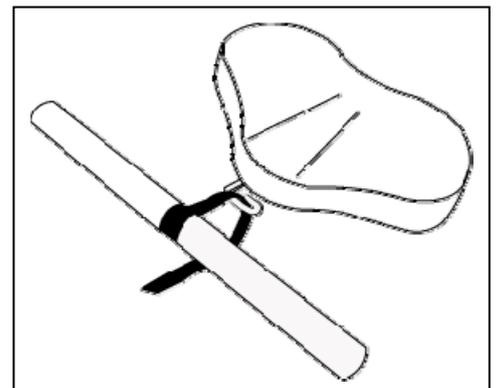
### シート調整方法

1. シート横のスプリングピン(67)を左に回し(解除)シートを前もしくは後に動かして調整します。スプリングピン(67)を右に回し、シートレール(52)の孔に差し込みます。(ロック)
2. ペダルとの距離をあわせます。その際に伸びた方の足の膝が少し曲がるくらいが適切な位置です。

ひざ：少し曲がる程度

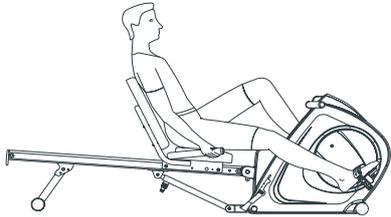


3. バトックス、レッグエクステンション、レッグストレッチ等の運動をする場合は右図のようにハンドルバーをシートに通して運動してください。

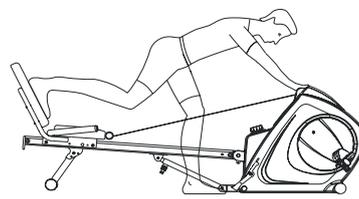


## 運動方法

リカンベントエクササイズ



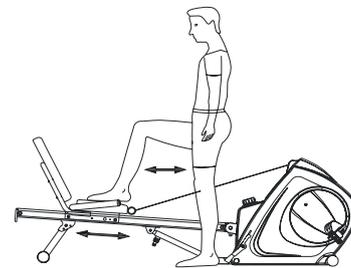
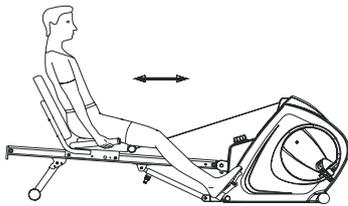
バトックス エクササイズ



必ず足をプレートに乗せて下さい。

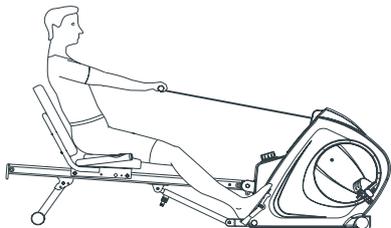
レッグストレッチエクササイズ

レッグエクステンションエクササイズ

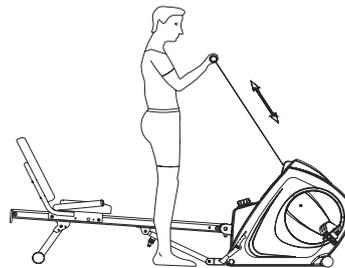


必ず足をプレートペダルに乗せて下さい。

パワーエクササイズ

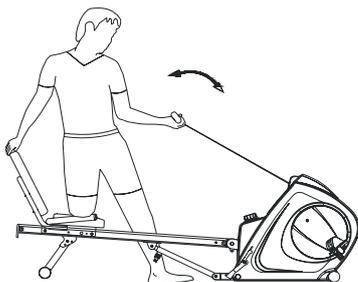


バイセプカールエクササイズ



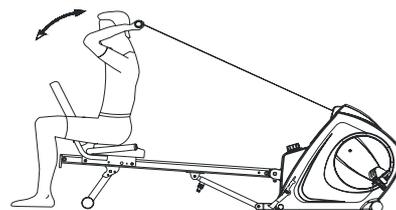
必ず足をプレートペダルに乗せて下さい。

トライセプエクササイズ



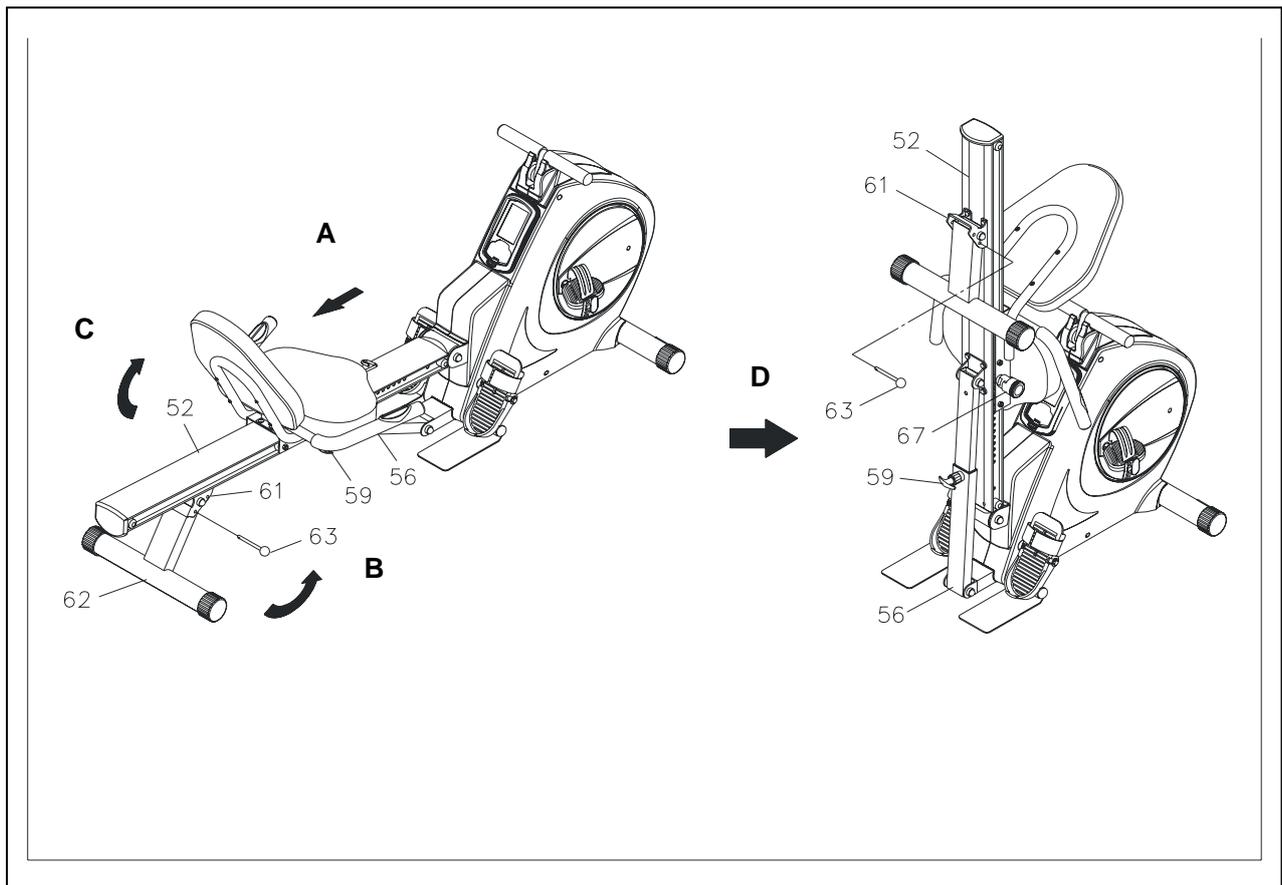
必ず足をプレートに乗せて下さい。

バック& アブドミナル エクササイズ



## 折りたたみ方法

- A. シートを後方に下げ、スプリングピン (67) で動かないようにロックします。  
**※あまり前方のほうでシートを固定するとシートが破損するおそれがあります。**
- B. プルピン (63) を抜いてリアサポート (62) を折りたたみます。
- C. リアサポート (62) が動かないようにプルピン (63) を差し込みます。
- D. リリースノブ (59) を引き出してレール (52) を持ち上げます。  
**※必ず“カチッ”と音が出るまでレール (52) を持ち上げてください。**

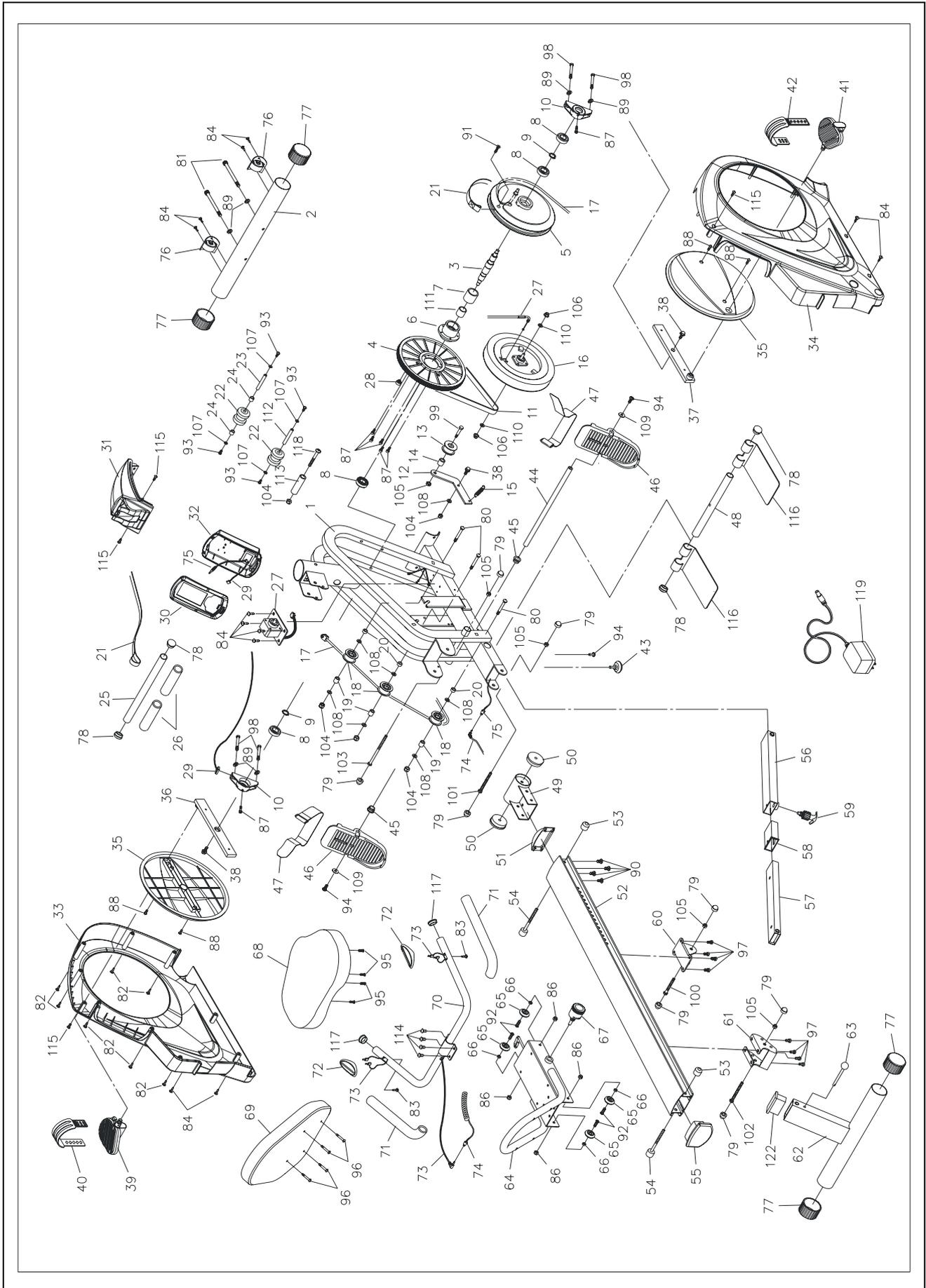


## 使用状態に回復の方法（折りたたみ方法の逆順）

1. リリースノブ (59) を引き出してレール (52) を水平にセットする。  
**※必ず“カチッ”と音が出るまでレール (52) を降ろしてください。**  
**注意！！ レール (52) を完全にロックしないと、使用中にケガをするおそれがあります。**
2. プルピン (63) を抜いてリアサポート (62) を降ろしてから、プルピン (63) を差し込みます。

トラブルシューティング

トラブル	原因	チェックポイント / 対処
E1	スピード信号がない	1)全部配線の接続を確認してください。 2)モーター不良またはセンサー不良/モーター交換・センサー交換
E2	メーターが作用しない	1)アダプターを一度抜き、再度差し込んでください。 2)メーターを一度外し、再度差し込んでください。 配線等の確認 3)メータ不良/メーター交換
E3	脈拍回復率を測定する時、初めの8秒間に実際の脈拍が表示されない	パルスグリップセンサー部に、両手(手のひら)で上から軽くおさえる感じで握ってください。
E5	モーターが動かない	モーターの故障/モーター交換。
脈拍の信号がない 或いは脈拍の信号が正しくない	メーターは脈拍の信号を受信できない	パルスセンサーの配線(プラグ)をソケットにしっかり差し込んでください。
	メーター受信の信号が不連続	1) 手が乾燥している。少し霧吹きなどで手を濡らしてください。
		2) パルスグリップセンサー部に、両手(手のひら)で上から軽くおさえる感じで握ってください。
		3) 乾いた布でパルスグリップセンサーを拭いてください。
メーター不良	4) パルスグリップセンサー交換。 メーター交換	
メーター表示がでない	アダプター違い	正しいアダプターを使ってください。
	アダプターのピンを本体に差し込んでいない	アダプターをしっかりと電源ソケット及び本体のソケットにしっかり差し込んでください。また、アダプターコードの断線の確認。
	メーター不良	メーター交換。
スピード表示 0	メーターがスピードセンサーから信号を受信していない	1) センサーマグネットをしっかり固定してください。
		2) スピードセンサー及びマグネット間の距離が 5mm 以下にしてください。
		3) メーターに関する配線をしっかり接続してください。
		4) メーターに関する配線が壊れているか、と確認してください。
センサー不良	センサー交換	
メーター不良	メーター交換	
メーターが完全に表示していない	少しモニターを押さえると、部分の表示が見える	メーターの IC 基盤及び LCD モニター間の接続がよくない。 IC 基盤をメーターのカバーにしっかり締めてください。 <b>**注意** 締め過ぎると、IC 基盤が壊れる可能性が高い。</b>
	小さい角度の範囲だけで、メーターの表示が読める	メーターの IC 基盤及び LCD モニター間の接続が歪んでいる。 メーターのカバーを開いて、IC 基盤のネジを除いて、丁寧に IC 基盤を取る。再度 LCD モニター及び膜をしっかり重ねてから、IC 基盤及びカバーを組み立ててください。 <b>**注意** IC 基盤及びカバーを組み立てる時に、膜と LCD モニターが正確に重なって、壊れない様に気を付けてください。</b> <b>**注意** 締め過ぎると、IC 基盤が壊れる可能性が高い。</b>
	メーター不良	メーター交換



パーツリスト

No	パーツ名	数量	No	パーツ名	数量
1	メインフレーム	1	35	クランクカバー	2
2	フロントスタビライザー	1	36	左クランク	1
3	アクセル	1	37	右クランク	1
4	プーリー	1	38	フランジボルト (M8×1.25×25mm)	3
5	ストラップホイール	1	39	左ペダル	1
6	コネクションホイール	1	40	左ペダルストラップ	1
7	ワンウェイベアリング (3520)	2	41	右ペダル	1
8	ベアリング (6004 z z)	4	42	右ペダルストラップ	1
9	Cリング (M20)	2	43	スタンド	1
10	ベアリングハウジング	2	44	ペダルシャフト	1
11	Vベルト	1	45	スペーサー	2
12	アイドリュウホイールアーム	1	46	フットペダル	2
13	アイドリュウホイール	1	47	ペダルストラップ	2
14	アイドリュウホイールスペーサー	1	48	ストッパーチューブ	1
15	テンションスプリング	1	49	レールピボット	1
16	マグネティックシステム	1	50	ピボットブッシュ	2
17	バンジーカード	1	51	レールコネクションキャップ	1
18	バンジーホイール	3	52	レール	1
19	ホイールブッシュ	3	53	ストッパー	2
20	ホイールスペーサー	3	54	ストッパーボルト	2
21	ストラップ	1	55	レールキャップ	1
22	ストラップローラー	2	56	サポートチューブ	1
23	ローラーアクセル	1	57	インナーサポートチューブ	1
24	ローラースペーサー	2	58	ブッシュ	1
25	ハンドルバー	1	59	リリースノブ	1
26	フォームグリップ	2	60	サポートブラケット	1
27	モーター	1	61	リアサポートブラケット	1
28	マグネット	1	62	リアサポート	1
29	センサーワイヤー	1	63	プルピン	1
30	トップメーターカバー	1	64	シートキャリー	1
31	トップカバー	1	65	シートローラー	4
32	メーター	1	66	シートローラスペーサー (Φ8×Φ12×6.5mm)	4
33	左カバー	1	67	スプリングピン	1
34	右カバー	1			

No	パーツ名	数量
68	シート	1
69	バッククッション	1
70	ハンドレール	1
71	ファームグリップ	2
72	パルスセンサープレート	2
73	パルスセンサーワイヤー	1
74	パルスコイルワイヤー	1
75	パルスコネクションワイヤー	1
76	ムービングホイール	2
77	ラウンドエンドキャップ (60mm)	4
78	ラウンドプラグ (25mm)	4
79	ナットキャップ (M10)	8
80	キャリーエイジボルト (M8×1.25×60mm)	3
81	ボルトソケット (M8×1.25×70mm)	2
82	ボルト (M4×25mm)	7
83	スクリューボルト (M4×25mm)	2
84	スクリューボルト (M5×18mm)	12
86	ナイロンナット (M8×1.25×6.2 t)	4
87	六角ボルト (M5×0.8×15mm)	7
88	ボルト (M6×1×15mm)	4
89	スプリングワッシャー (M8)	6
90	フラットボルト (M8×1.25×16mm)	4
91	フラットボルト (M8×1.25×25mm)	1
92	フラットボタンボルト (M8×1.25×25mm)	4
93	ボルト (M6×1×12mm)	4
94	ボルト (M8×1.25×15mm)	3
95	プラスボルト (M6×1×15mm)	4
96	プラスボルト (M6×1×30mm)	4
97	六角ボルト (M8×1.25×16mm)	8
98	ボルト (M8×1.25×55mm)	4
99	ボルト (M10×1.5×45mm)	1
100	六角ボルト (M10×1.5×75mm)	1
101	六角ボルト (M10×1.5×85mm)	1
102	六角ボルト (M10×1.5×95mm)	1

No	パーツ名	数量
103	六角ボルト (M10×1.5×125mm)	1
104	ナイロンナット (M8×1.25×8 t)	4
105	ナイロンナット (M10×1.5)	5
106	フランジナット (M10×1.25)	2
107	ワッシャー (M6)	4
108	ワッシャー (M8×Φ16)	5
109	ワッシャー (M8×Φ23)	2
110	ワッシャー (M10)	2
111	ワンウェイベアリング (2520)	1
112	ローラーアクセル (59mm)	1
113	ローラー Spacer	2
114	ボタンボルト (M8×12mm)	4
115	ボルト (M5×12mm)	4
116	プレートペダル	2
117	プラグ	2
118	ボルト (M8×1.25×70mm)	1
119	アダプター	1
122	スクウェアプラグ	1

## 保証規定（家庭用）

- 1.) 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償修理いたします。
- 2.) 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に本書を添えてご購入店または(株)中旺ヘルスへ依頼してください。
- 3.) 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
  - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損傷。
  - ④ 本書の提示がない場合。
  - ⑤ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - ⑥ 消耗品：プラスチックカバー、コントロールユニットフィルム他。
  - ⑦ 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - ⑧ 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
  - ⑨ 会社・施設・業務用に使用した場合による故障および損傷。
- 4.) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 5.) この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### 品質保証書

このたびは、中旺ヘルス健康機器を、お買い求めいただきありがとうございました。

本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理いたします。

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいでください。

品名： サイクルローイング

形式： RM-6510

ご芳名：

ご住所：

Tel. ( )

お買い上げ店名：

印

住所：

Tel. ( )

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

シリアル No.

お問い合わせ ・ ご相談は「電話 052-501-2577」へ

本社：〒452-0011 愛知県清須市西枇杷島町城並 3丁目 2-2

E-mail：[hj@jp-chuoh.com](mailto:hj@jp-chuoh.com)

TEL：(052)501-2577

URL：[www.jp-chuoh.com](http://www.jp-chuoh.com)

FAX：(052)501-2588

東京営業所：TEL：(03)3835-4399